

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 関高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和4年8月31日(水)、9月1日(木) 関高校文化祭見学
令和4年9月 学校評価アンケート結果について(書面による開催)
- 3 開催場所 関高等学校および書面による開催
- 4 参加者

会長	大野 正博	朝日大学法学部 教授
副会長	福田 恵介	福田刃物工業株式会社 取締役
委員	平田 久美子	平田建設株式会社 取締役
	森 小百合	関市 健康福祉部長
	村井 義史	本校同窓会 副会長
	河野 芳宣	本校 P T A会長
学校側	林 雅浩	校長
	高田 幸世	教頭
	小島 和秀	教頭
	大野 仁史	事務部長
	川原 正史	教務主任
	杉山 広之	生徒指導主事
	片桐 良子	進路指導主事
	林 直樹	研究推進部長
	安中 裕勝	特別活動部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校評価アンケート結果について(○はアンケートの大項目)

○教育方針・学校運営

意見1: 生徒は概ね肯定的な見解を示しているが、保護者等は、「生徒はよるこんで学校に行っている」「単に学力だけでなく、健全な身体、豊かな心も含めた人間を育成しようとする校風が感じられる」の評価につき、否定的な見解が多いことが気になる。如何なる点が、そのように感じさせる原因であるか、検討の必要があると思われる。

意見2: ほとんどの保護者と生徒が関高校のスクールポリシーに共感している。生徒の多くが関高校に通っていることに満足していると思えるのに対し、保護者の方は否定的な思いが多くなっているのは、生徒と保護者のコミュニケーション不足によるものではないか。

意見3: 「本校に入学できて良かったと思っている」生徒が多いことは素晴らしい。

意見4: 「一人一人のよさや可能性を伸ばすことに努めている」も明らかに増えて、昨年度より改善しているのが分かる。

○家庭との連携

意見1: 生徒は肯定的な見解を示しているが、保護者等については、否定的な見解が多いため、その乖離を受けることが必要である。

意見2: 「学校からの文章等が保護者に確実に届いている」事について、生徒と保護者の間に大きな差

が生まれていることについては、高校に上がってからの通信が小中学校までと比べて少ないことに起因するのではないか。

意見3：一斉配信メールサービスには、生徒も保護者も慣れており、非常に効果的である。

意見4：家庭との連携は、いかに情報交換を多く行うかに尽きる。全体的には良い傾向で家庭とのやり取りができていると思われる。

意見5：「家庭で学校に関する話をしている」生徒が意外に多い。もちろん話をしない生徒も自立している場合は、それはそれでよい。

意見6：情報発信については、生徒と保護者意識に随分違いがある。生徒は教科書や参考書による学習が基本のため、まだ活字離れしていないが、「最近の親は活字離れしている」とよく言われ、保護者にペーパー情報はなかなか伝わらないと感じる。ホームページも必要感や、強い興味があれば閲覧するが、見てほしい人にはなかなか見てももらえないのが現実であると思われる。

○教職員

意見1：生活指導、個別学習指導等につき、生徒の評価がさらに向上すると望ましいと思われる。

意見2：学習、授業の面に関しては生徒が教職員を高く評価し、信頼しているのが伝わって来る。反面、保護者からは、学校に来る機会も少なく、教職員の方々の働き方等が、わかりにくくなっていると思われる。

意見3：体罰に関しては、引き続き否定的意見「0」を目指してほしい。

意見4：生徒の教職員に関する項目が概ね「肯定90%以上」であることはすばらしい。

○学習指導

意見1：いずれも、昨年度に比べ、生徒の評価は上がっている点は評価できるが、保護者等の評価があまり芳しくない点は、原因追及の必要があると思われる。教師に対して生徒の数が多い以上、一人一人への対応に対して、生徒が満足に思えないのは、ある程度仕方がないように思われるが、出来るだけ工夫して対応してほしい。

意見2：約20%の生徒がFRH活動に対して有意義に思えないのは残念である。生徒の中でも取り組みに温度差があると、グループでの活動もやりにくい形になってしまうので、意義や活動の意味を理解する機会がもう少し必要である。

意見3：テスト以外のいろいろな学びが、結果的にテストの点数が伸びることに繋がり、社会に出た時に役に立つ。

意見4：学習指導について、生徒も保護者も否定的なパーセンテージが若干高いが、これは双方不安の表れだと思われる。学習について十分な相談などができる体制があれば少しは改善するのではないか。

意見5：生徒・保護者ともに、概ね昨年度より改善されてはいるものの、全て「否定的10%以上」は意外。生徒たちの教職員に対する肯定感と結びつかないように思われる。現在の学習指導が自分にとって有意義であると実感できるのは、進路実現ができたときなのであろうか。

意見6：保護者には、項目の字面だけ見ても学校が具体的に何をしているのか、どんな指導を行っているのかよくわからず、否定的な回答になっているのではないか。学校が力を入れて実践していることなので、発信方法を工夫することが重要。

○生徒指導

意見1：いずれも、昨年の評価に比べ、生徒・保護者とも肯定的評価が向上していることから、さらに理解を得られるように努めてほしい。

意見2：生徒側からは、おおむね十分な指導を受けていると感じているものの、保護者としては学校で教職員の方々と接する機会も少なく、わかりにくいと言う反応となっているように見える。

意見3：いじめに関して否定的な意見が少なくなってきたのは、先生方が細かく心を配っている証であると感じる。

意見4：社会に出ると、いじめや差別を行う人間は、結局うまくいかない。生徒指導というより、生徒自らが変えていく学校を目指すことが理想である。

○健康指導・安全指導

意見1：自然災害等に対する評価が高いことは、このような時代、非常に良いことであるように思われる。保護者側からは分かりにくいところもあるが、生徒側から見ると生徒の安全・衛生面に配慮し、指導が行われていると思われる。

意見2：地震や台風等の場合の対応についての対策マニュアルが、生徒・保護者ともに、しっかりと伝わっている。

意見3：生徒の生活面に対してきちんと指導されている。

○学校行事

意見1：学校の施設・設備、ボランティア活動等に関し、保護者の理解が低い原因がどこにあるのか不明であるが、予算等の問題でクリアできる部分は、改善が望まれる。外部講師の講演や様々な体験活動等に、生徒・保護者ともに満足度が高いのは非常に素晴らしい。

意見2：学校の施設・設備への満足度が低いのは、学校の歴史があるため、仕方がないものもあるが、少しずつ順番に改善して頂ければと思う。

意見3：清掃に関しては、今後の人生（仕事、暮らし）においても大切なことなので、意識できるようになると良い。

意見4：コロナ禍で思うように学校行事が行えない中、工夫して行事を行っている。

意見5：生徒・保護者ともに「否定的10%以上」が多いのは、ボランティア活動などが一部の生徒によるものだからなのであろうか。

○学校独自項目

意見1：生徒については、全体的に評価が肯定的であり、良い傾向であると思われる。特に服装等に関する校則の是非や探究学習等に良いイメージをもっていることは、評価される。保護者の評価がさらに上がることが望まれるため、如何に良さを周知するかの工夫が必要であろう。

意見2：「関高生の公衆道徳や交通マナー等は…」に関して、生徒・保護者ともに否定的な評価が多いのは少し気になる。生徒が自分自身を振り返ってそう思うのか、他の生徒を見てそう思ったのか、保護者も関高生のそういった現場を見たのか、いずれにせよ、そういった面での指導の方法を見直してほしい。

○その他（全体を通して）

意見1：保護者等の回答率が86.9%であり、積極的に回答される方の中には、評価が厳しい面もあることも否めないが、生徒の評価が高い部分が保護者等に十分に伝わっていない点は、残念である。全体的に、生徒側から見ると、おおよそ学校に対して満足しているように思えるが、保護者側から見ると、よく分からないと言う評価も若干多いように見える。新型コロナウイルスの影響もあり、なかなか保護者が学校行事に関わることも出来ず、難しいところもあるが、来年度以降、新型コロナウイルスからの制限も緩和されて、もっと保護者も学校の活動に関われるようになると良い。

意見2：生徒が「勉強だけできる」のではなく、多様性を身に付け、あらゆる場面で「さすが」と言われることを期待している。

意見3：概ね肯定的な回答が多く、評価は高い。

(2) 関高校文化祭について

感想1：感染拡大下において、規模は縮小しているものの、実施されたこと、非常に素晴らしいと思います。生徒の努力もあると思いますが、それを下支えされてみえる先生方の苦勞に頭が下がります。演劇、ダンス、バンド等は、限られた時間の中で練習されたことがひしひしと伝わりました。また、展示等についても、種々の工夫が施されていると感じましたが、インスタ映えするよう撮影場所を工夫している点が、現代の文化祭なのだと実感しました。学業だけでなく、文化祭のような催しも、一体感をもち、懸命に取り組む関高生は、本当に素晴らしいと思います。

感想2：体育館での新体操部の発表は、ダンスのクオリティも高く、生徒達が楽しんで発表しているのが伝わってきました。各クラスの展示物は、どのクラスもオリジナリティが高く、長い時間をかけて作り上げて来た事と思います。参加する側はもちろん、作り上げて来た側も楽しんでいました。美術部の展示では、ただ見るだけでは無く、見る側が参加して、その反響が後から見られるように工夫してありました。体育館での未成年の発表では、とても多くの生徒が体育館に集まり、学校全体の一体感を感じることが出来ました。発表する側と観る側との温かいやりとりや、他の生徒の発表を観てから自分を奮い起こして急遽飛び入り参加して発表するなど、積極的な生徒の頑張りを珍しい物では無く、普通の事として受け入れる学校の雰囲気を感じられました。とても楽しかったです。

来年からは、全ての保護者の方々も見学できる様になることを祈ります。

感想3：生徒さんたちの楽しそうに活動する姿が拝見でき、こちらも嬉しくなりました。ようやく正常な学校生活へ戻ることができる光のようなものが見えました。

一方で校内を色々見ていく中で、清掃が行き届いていない場所があちこちみられました。お祭りでそれどころではないのかもしれませんが、どのような場合においても掃除や整理整頓は基本となってきますので、きちんとやれるに越したことはないと思います。

感想4：コロナ禍で思い通りにならないことも多いと思いますが、形を変えても続けていけると良いですね。むしろ、形を変えざるを得ない方が生徒たちの考えるチャンスが増え、良い勉強になるかもしれません。

感想5：クラスの演劇では、磨き上げた演技、衣装や小道具・大道具の工夫、取組への熱心さなど、短い時間でしたが澁刺とした高校生らしさを一杯感じました。体育館で演劇を見る生徒たち、廊下ですれ違う生徒たち、大変マナーが良いのにも感心しました。コロナ感染予防の観点から、いろいろな制約があった中だとは思いますが、一人ひとりが存分に楽しんでいるように感じました。

感想6：文化祭パンフレットの生徒会長の巻頭言には、「60年以上続いたこの文化祭には変わってはいけない関高の大切な財産や、青春の時代に学べき多くのことが含まれています」と記してありました。この言葉を卒業生の一人としてとても嬉しく思います。関高での文化祭のこの経験が、きっと人生の大切な宝物になると思います。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、7月に全校生徒と保護者等を対象に実施した学校評価アンケート結果について書面で協議した。また、委員の方々を8月31日、9月1日に開催した関高校文化祭に招待し、関高校文化祭の意見や感想を書面でいただいた。今回いただいた意見を学校活動の中に活かすとともに第3回学校運営協議会では、成果と課題について協議したい。